

3月18日土曜日の朝、アンフォーレ1階多目的室で「あんじょう協働リビングラボ」の2回目を開催しました。参加者は、市民・市職員に事務局スタッフを含めて28人でした。

この日のテーマは「テーマ研究～アイデアブレスト」。まずは参加者どうしの関係性づくりから。次に、アンケート調査等を通して見えてきた安城市の協働の現状と課題について共有したあと、関心のあるテーマを選んでグループになり、「自助」「互助」「公助」の視点から課題解決のためのアイデアを出し合って意見交換。最後に、グループイチ押しのアイデアを3つ選んで全体で発表・共有しました。

1. アイスブレイク

簡単なゲームや自己紹介を通して、参加者同士の関係性づくり。対話をする上で大切な「聴き方」や「話し方」などコミュニケーションのコツも学びました。



相手の目を見て
耳を傾けて
心に刻む
「傾聴」が大事！



マルチパートナーシップで
つながっていく
協働が必要！

2. あんじょう協働の現状と課題

市民・町内会・市民活動団体を対象にした
3種のアンケート調査から見えてきた

安城市の協働の現状と課題

- 若い世代、新住民ほど町内会加入率が低い
- 若い人の町内会への参加意識が低い
- ボランティア・市民活動に参加している人13%に対し、関わってみたいという人は44%！
- 町内会では役員のなり手不足などが大きな課題
- 町内会の活動や市民活動は新型コロナウイルス感染症によって近年大きな影響を受けている
- 市民活動は、とくに「情報」「人材」面での課題を抱えている
- 市民活動団体と地域団体、事業者との協働など、多様な協働関係を生むための支援が課題 など



市民協働推進計画に基づいて
様々な事業を進める中で見えてきた

安城市の協働の現状と課題のポイント

①理解促進

ボランティア活動、市民活動、町内会などの地域活動の魅力発信をいかに進めるか？

広報、WEB、市公式LINE、チラシなどで情報発信しているが行き届いていない。どうすればいい？

②活動のきっかけづくり・担い手づくり

ボランティア・市民活動、町内会などの地域活動の担い手や参加者をどう確保するか？

やってもいいと思っている人を、どう活動へと導くか？
若い世代の参加促進は？

③確かな町内会（地縁コミュニティ）づくり

地域の安全・安心・自治を支える町内会の加入率アップと担い手確保をどう実現するか
防犯・防災・福祉等、地域の特性に合わせた活動が重要。
加入率が上がる町内会とは？

④マルチパートナーシップ

市民活動団体と地域団体、事業者との協働など多様な協働関係づくり

多様な主体の協働関係を生むきっかけとなる機会・場はどうあるべき？



市民協働課
浅井さん

3. グループワーク「テーマ研究～アイデアブレスト」

5つの課題の中から興味関心のあるテーマを選んでグループになり、「自助」、「互助（共助）」、「公助」の視点から、課題解決のためのアイデアを出し合って意見交換のグループワークを実施。最後に「グループイチ押しのアイデア」を3つ選んで（★）全体で発表・共有しました。



1 グループ

「まちや地域に関わる人、まちや地域を楽しめる人を増やすためには？」

★循環型の仕組みづくり

まちを知る→まちに入る→まちを伝える→まちで遊ぶ→もっとまちを知る…とスパイラルで続けていきたい。

★安城版 東海オンエア

「あなたもまちに関わって、インフルエンサーになりませんか？」



2 グループ

「若い人を市民活動や協働のまちづくりに巻き込んでいくためには？」

★若者にとっての付加価値（メリット）

例えば、アルバイトと協働をつなげるなど…

★参加のハードルを下げる（メイクイットイージー）

最初はリモートにしてみるなど…

★若者が使いやすい方法で宣伝（アドバタイズメント）

成人式、学校など、若者が目にしやすい部分でPR・アプローチ。

若者の共有する力、発信力をうまく取り入れて！



3 グループ

「町内会や町内福祉委員会の担い手を確保するためには？」

★もし町内会がなかったら…

「どうなる社会？」の動画をつくる

SNSの活用

★成人式ならぬ還暦式をやる

60代＝アクティブシニアの参加を促す

★好きなもの自慢大会をやる

自己開示で町内会になじめるように！

町内会を楽しんで参加できるイベントを！



5 グループ

「新たな市民活動やアクションを創発させるためには？」

まずは想像・企画する、やってみる、知ってもらう、出会う、持続可能な方法で（助成も）…

★世代の異なる人との出会い系

Cafeで交流、太極拳のイベントなど



ひとことアンケートより グループで意見を出し合うことで、考えの幅を広げることができた／みんな違うけれど実はつながっている。意外な共通点が見つかるので対話は大切／既存の物を有効に活用するだけではなく、新しい視点で仕組みやきっかけづくりのアイデアがたくさん出ておもしろかった／若い世代の強み（発信力、共有力）をどう活かしていくかはとても重要な気がします ほか

【発行・問合せ先】

安城市役所 市民協働課

TEL 0566-71-2218

✉ kyodo@city.anjo.lg.jp

※8:30～17:15（土日祝日を除く）